

系列カテゴリ法データの分析プログラム

PCatJudgLS.exe

系列カテゴリ法データを分析するプログラム PCatJudgLS.exe を起動すると、図 1 のフォームが提示される。

	ラベル	Cat. 1
1番目		

図 1 起動時のフォーム

「追加(行)」ボタンおよび「追加(列)」ボタンをクリックして、グリッドの行数と列数を刺激の数とカテゴリの数に合わせて増やす(図 2)。

	ラベル	Cat. 1	Cat. 2	Cat. 3	Cat. 4	Cat. 5	Cat. 6	Cat. 7
1番目								
2番目								
3番目								
4番目								
5番目								
6番目								
7番目								
8番目								
9番目								
10番目								

図 2 行数と列数の調整

行数と列数の調整後、データを設定する。図3は本書表1.8のデータを設定したものである。

	ラベル	Cat. 1	Cat. 2	Cat. 3	Cat. 4	Cat. 5	Cat. 6	Cat. 7
1番目	St.1	41	8	1	0	0	0	0
2番目	St.2	30	18	2	0	0	0	0
3番目	St.3	15	18	11	5	1	0	0
4番目	St.4	2	15	23	9	1	0	0
5番目	St.5	1	6	15	19	6	2	1
6番目	St.6	0	1	10	16	15	8	0
7番目	St.7	0	0	3	12	17	14	4
8番目	St.8	0	0	0	4	12	15	19
9番目	St.9	0	0	0	2	6	12	30
10番目	St.10	0	0	0	0	1	6	43

図3 データ（本書表1.8）の設定

設定したデータは、「保存」ボタンのクリックで保存することができる。保存は CSV 形式でファイルに書き出される。保存したデータは、図1のフォームにおいて「読出」ボタンをクリックすると読み込むことができる。「読出」ボタンをクリックすると、図4のファイル名設定のダイアログボックスが表示される。

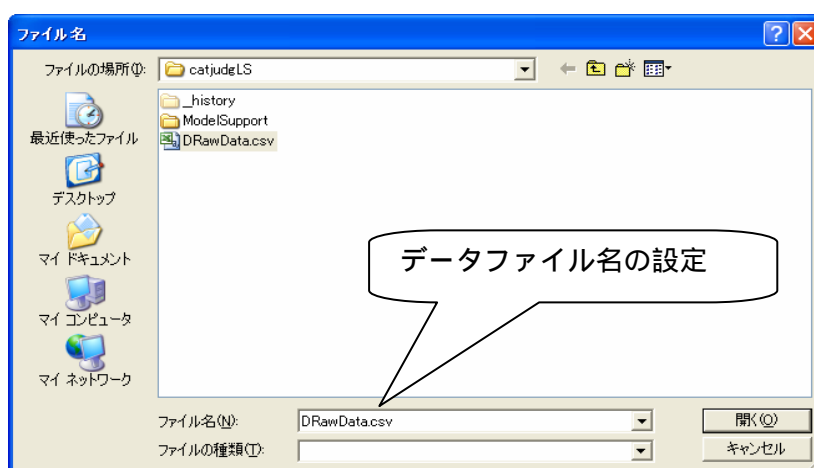


図4 読込データファイル名の設定

入力データファイルは CSV 形式で書き出されているので、ファイル名の拡張子は「.csv」である。ファイル名の設定後、「開く」ボタンをクリックすると図3のフォームになる。

データの設定後、「計算」ボタン（図3）をクリックすると計算が始まるが、まず計算結

果などを書き出すテキストファイルの名前の設定を求めるダイアログボックスが表示される(図5)。

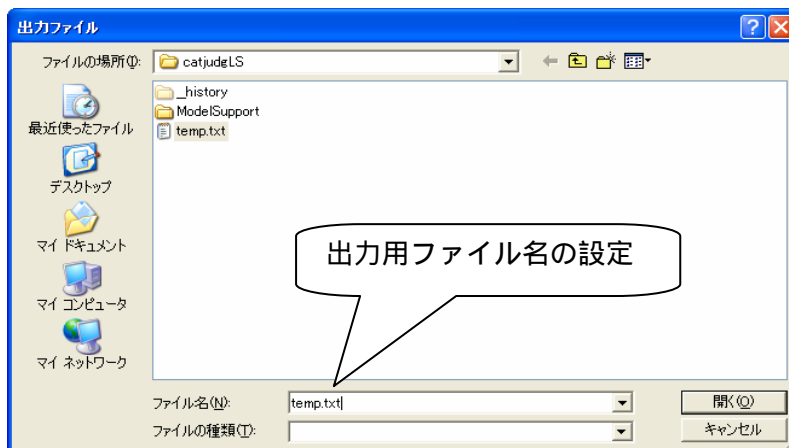


図5 出力ファイル名の設定

出力ファイルはテキストファイルなので、ファイル名の拡張子は「.txt」としておくと便利である。ファイル名の設定後、「開く」ボタンをクリックすると、計算が始まる。計算は短時間で終了し、プログラムの実行終了となる。プログラムの終了後、出力ファイルをエディタで開くと図6のように計算結果などが書き出されている。

The screenshot shows a text editor window with the title 'temp.txt'. The content of the file is as follows:

	UCatJudgLS	PCatJudgLS	temp.txt
53	0	0	0
54 St-10			
55	0	0	0
56	0	0	0
57			
58	Cat-1 = 0		
59	Cat-2 = 1.0776		
60	Cat-3 = 2.1731		
61	Cat-4 = 3.1465		
62	Cat-5 = 4.045		
63	Cat-6 = 4.8805		
64			
65	St-1 = -0.91779		
66	St-2 = -0.30065		
67	St-3 = 0.63128		
68	St-4 = 1.4396		
69	St-5 = 2.2805		
70	St-6 = 3.0132		
71	St-7 = 3.6609		
72	St-8 = 4.5471		
73	St-9 = 5.1049		
74	St-10 = 5.9703		

図6 出力ファイル例

図6は、表1.8のデータの分析結果なので、本書表1.9に示されているものと同じ内容である。

၆။